

外務省
自
年
月
日

統監府ニ於テ施行スル
又ハ計畫シタル
主要事務ノ概要調書

第
卷

1
1
2

55

自
年
月
日

統監府ニ於テ施行スル
又ハ計畫シタル
主要事務ノ概要調書

第
单
卷

REEL No. 1-0072

0433

全部

3

収

明治四十年

明治四十年

外務省

外務省

候考者より内閣へ提出

明治四十年中ニ施行スル計画シ

タル主要ナル事務ノ概要調書材料

外務省

MT 11255 00001

REEL No. 1-0072

0434

米國ノ締結ニ工業所有權及著作權 保護條約實施	二
鑛業ニ對シテ法規ノ改正	三
新聞紙取締	四
日韓通商條約ノ廢止	五
清津港開港	六
清國居留地規程取極	八
鴨綠江鐵道橋計劃變更	九
統監府臨時間島派出所	一一
統監府觀測所官制ノ廢止	一二
理事廳監獄	一三
奉事坊况	一四
民同行政	一四
營林廠四一年度ニ於テ事業計畫	一六
通信管理局	一八
鐵道管理局	一九
營業開始	一九
貨率ノ改正	一九
日韓通商連絡	一九
連帶運輸開始	二〇
取新設及廢止	二〇
債金ノ割付	二一
乘車券ノ代理發賣	二二
承認貨物取扱人	二三
常置軍用列車ト運送隊輸送	二三
高價品種改正	二三

外務省

MT 11255 00003

MT 11255 00002

(四) (三)

運輸收入	二四
運送数量	二五
特許局設置後状況	二七
退官賜金	三〇
官等俸給令改正件	三一
文官任用令改正件	三一
帝室財産	三二
帝室債務	三三
享祀監督正	三四
員役女官處分件	三四
地方官吏任用	三五
觀察道位置并存郡分令	三五
地方長官命令	三六
外務省	三六
郷校	三六
各道警察本部設置及警察視廳	三七
官轄区域	三七
巡查隊編成及解散	三七
間島警察官旅遣	三八
監獄事務補助	三八
新聞紙法	三八
暴徒	三九
木浦水道費補助	四〇
漢城内外清潔保持	四〇
地稅整理	四一
宮内府所管雜稅ノ移屬	四一
紅蔘專賣法及人蔘稅法制定	四二

MT 11255 00005

MT 11255 00004

REEL No. 1-0072

0436

(六) (五)

驛代土管理	案三件	四二
東洋拓殖會社出資	案一件	四三
貨幣整理	案三件	四三
債券發行	案三件	四三
稅率	案三件	四四
關稅稅率	案三件	四四
課稅價格	案三件	四五
臨時財產整理局設置	案三件	四六
帝室債務調査	案三件	四六
法部、主要庶務		四七
普通各校、増設		四九
官立高等女校、新設		四九
官立外國語校、合併		五〇
外務省		
官立師範各校講習科設置		五〇
成均館各別改正		五一
私立各校、取締		五一
林業		五一
鑛業		五二
水産業		五二
農業		五三
協定書		五三

MT 11255 00007

MT 11255 00006

REEL No. 1-0072

0437

外務部

統監府ハ韓國政府ノ國際事項ヲ引継キタル
當時ニ於テハ多年懸案中ノ事件甚ク多ク而
カモ大分ハ其關係錯雜ヲ極メモ、係リ、此外又韓
國政府又ハ宮室ト外國人トノ秘密關係ニシテ統
監府設置ノ為新ニ公然ニ要求問題トシテ外國人
ヲ提記セシムルモノモ、尠クモ、統監府設置以來
銳意此等ノ解決ヲ勉メタルモ、各年未ニ於テハ
尚ホ其落着ク見セモノアリシカ、此等案件ハ本年
ニ於テ殆トテ全部之カ解決ヲ告ケタリ、而シテ上述
ノ事件ハ何レモ極メテ圓滿ニ解決シ、一モ國際向ノ難件
トナリシモノナシ

外務省

人ニ罪係ル案件ニシテ、其重要ナルモノ左ノ如シ

一、米國ト締結セル工業所有權及著作權保護
條約ノ實施

帝國ハ米國ト間ニ工業所有權及著作權ノ
保護ニ罪レ、昨年米茶約締結ノ交渉中ナリ
シカ、米國ハ韓國ニ於テ右ノ事項ニ罪ル領事
裁判權ヲ放棄スルコトニ同意スルニ至リ、明治四十五年
五月十九日在米大使ト米國々務卿トノ間ニ此條
約ノ調印ヲ了シ、同廿一日米國元老院ハ之ニ協賛
ヲ与ヘタリ、是ニ於テ帝國政府ハ此條約ヲ實施スル為メ
勅令ヲ以テ韓國ニ於テ工業所有權及著作
權保護ニ罪レ、日本韓ニ白人ニ適用スル法
ヲ制定シ、其機關ノ一トシテ特許局ヲ韓ニ設ク

MT 11255 00009

MT 11255 00008

此は法定シテ依テ統監ハ韓政府ヲシテ我
 勅令ノ發布ト同時ニ工業所有權及著作權ニ関スル
 日本政府ノ法令ハ韓臣民ニモ服従ノ義務アル
 旨ノ告示ヲ為サントシ八月廿日米條約批
 准交換アリタルヲ以テ同十四日迄ニ關係法令ノ全部
 發布ノ手續ヲ了シ同十六日ヨリ之ヲ實施スルコトハ
 ヤリ

(二) 鑛業ニ関スル法規ノ改正

統監ハ韓必ニ於テハ鑛山開采ヲシテ外資資本ヲ
 誘致スル方法トシテ外人投資家ノ不便ヲ感セル法
 規ヲ改正シ及外資事業家ニ便宜ヲ与ル手段
 ヲ講スルコトヲ韓政府ノ當局者ニ注意シテ結果
 トシテ韓政府ハ本年七月七日鑛業法ニ改正ヲ

外務省

加一鑛業權ノ讓渡及之ヲ抵当權ノ設定ハ政
 府ノ許可ヲ要セザルコトニ法令中政府ノ鑛業許可
 ノ取消及新業ノ中止ヲ得ル場合ヲ及テ夫ケ制
 限削除シ同八月十九日新業用機械器具及必
 要品ノ輸入税及銅銻、銅鉛石ノ輸出税ヲ免
 除スルコトヲ勅令スルコトナリ

(三) 新聞紙取締

韓必、新聞紙取締法ハ從來外資ニ於テ發行シ
 タル新聞紙及内國ニ於テ外人ノ發行タル新報
 紙ニ對シテ取締ノ規定ガ有リしが昨年米國亞桑港
 ニ於テ韓人ノ發行タル共同新報ハ卷激スル文辭ニ
 ヲリ當國ニ於テハ我政策ニ反對シ内亂ヲ煽動スル
 一ノ虞アリ記事論說ヲ託載シ威シニ内國ニ輸入

MT 11255 00011

MT 11255 00010

領布に又京城に於て英人セルノ發行スル大韓毎
 日申報モ右同様ノ趣ニ意ヲ以テ治安妨害ノ虞ヲ
 心記事論文ヲ掲載領布スルヲ以テ統監ハ之ヲ
 取締ラセテ必要ヲ感シ韓公政府中當局者ニ注
 意ス所アリ韓公政府ハ本年四月廿九日新中法
 法ヲ改正シ外由ニ於テ發行シタル國文新中法及外
 由人ノ内國ニ於テ發行スル國文新中法ニシテ治安
 妨害風俗壞亂ノ虞ト見モハ内部大臣ニ於テ
 其發賣ヲ禁示シテ新中法ヲ押収ス
 ルヲ得ルノ條文ヲ設ケテ之ヲ發布シ直ニ之ヲ實施
 スルニ至リ

四 日韓通商條約ノ廢止

明治二十二年ノ訂約ニ係リ日韓通商規則ハ其後
 外務省

民業ノ發達ニヨリ現下事情ニ適合セス反テ漢
 業ノ發達ニ阻害アル事實アルヲ以テ統監ハ韓公政
 府ノ當局者ニ注意シ右條約ヲ廢止シ韓公政
 府ノ手ヲ新ニ漢業法ヲ制定シ日本人ノ韓公
 府テ漢業ヲヤメモニ對シテモ其司法裁判所ノ職
 權ニ屬スルヲ我官憲ニ於テ管轄スル外總テ
 韓公漢業法ニ服従セシムルニシ日韓兩國
 民ノ漢業區域制限ヲ双方共解除スルニト協定
 シ明治四十一年十月辛巳日韓公政府ハ漢業法
 ヲ廢布シ同日統監ハ韓公政府ノ間ニ公文ヲ交
 換シ本府ノ取極ヲ終シ

五 清津港開放

咸鏡北道鏡城郡清津港ヲ外由通商港

MT 11255 00013

MT 11255 00012

トナシ北韓ノ开发ニ資スルノ議ハ明治四十年五月中
 土留向者ノ向ニ決定シテ後統監府ニ於テ土留
 放ノ手續ヲ定メ及土地ヲ買収スル等南放ニ由ル
 之ニ准テ備中ナリカ右決了シタルヲ以テ明治四十年
 一月九日韓政府ハ勅令ヲ以テ同年四月一日ヨリ
 同地ヲ外ニ通商港トナシ之ニ出入スル船舶貨物
 ハ他南港ニ異スル條約規則ヲ適用スル旨ヲ及充
 令シ同三月廿六日清津土地規則ヲ同三月九日清
 津官有地賣下規則ヲ發布シ之ニ同時ニ統監
 府ニ韓政府トヨリ取極書ノ形式ヲ以テ同地ニ
 在ル官有地ノ管理權及賣下、市街区劃及土木
 組、并ニ租稅その他公課ノ要スル事項ヲ日本
 領事官ニ於テ委任權セシムル事ヲセリ

外務省

(六) 清居留地規程取極

韓西、於て清人居留地ハ仁川、釜山及元山ニ在
 リ仁川居留地ハ明治十七年中、取極ニ係ル仁川華
 商租界善行規程ヨリ設立セシメ之ニシテ再未同
 居留地ハ今日ニ至ルマテ該善行規程ノ事項ニヨリ官
 理セシ居ルモ該善行規程ハ日清戰役ノ際廢棄
 ニ歸シタルヲ以テ今日同居留地ハ口口日價ヲ廢除
 スルニ止リ居留民カ言テ度々特典ニハ何事モ係
 障ナク取扱上不便少カラサルニテ相考ノ規程ヲ
 度々清政府ヨリ申込ナリ又釜山元山ノ居留
 地ニ關シテハ明治十七年頃ニ於テ設定ニシテ清
 韓西ニ官憲ヨリ姓復ヲ重シ租界善行規
 程ヲ作リタルトアルモ未ダ決定調印ニ至ラズ

M 11255 00015

M 11255 00014



只大伴ノ境界ヲ測リ標石ヲ建テタルノ故ニ亦末清國
 居留地ノ通稱アリテ事實上居留地ノ状態ヲナシ
 居ルト雖モ之ニ關スル國際的約定ナク管理上不便アリ
 カラアルヲ以テ清國ニリ規定ノ取柄ヲナシキ昔交渉アリ
 依テ帝國外務省ニ右ノ申入ニ同意シ亦邦ノ駐在清國
 公使トノ間ニ大伴協議ヲ終リタルヲ以テ目下統監府
 於テ同居留地規程ヲ取柄タル為メ細目ノ詮議中
 ナリ也

七 鴨綠江鐵道橋計劃變更

日露戰役中我陸時軍用鐵道監部ニ鴨綠江ニ鐵
 道橋架設ノ設計ヲナシ其架橋地点ニ停車場其他ノ
 關係上新義州ヨリ安東縣新市街ノ下ニ連スルモノトシ
 其様式ニ固定橋トナスコトニ決定シ其後統監府鐵

外務省

道管理局ニ於テ之ヲ引継キ尚ホ之ニヨリテ架設計劃ヲ
 立テテリ然ルニ在北京英米兩國公使ハ四十年一月中駐清
 帝國公使ニ對シ其豫定架橋地点ハ安東市街及豫
 定右國居留地ノ下流ニアルヲ以テ出入ノ船舶ニ障害ヲ
 与フニ虞アリニ付固定橋トナスス開閉橋トナスカ又出來得
 ヘンハ架橋地点ヲ上流ニ變更スルコトニ帝國政府ノ考慮ヲ
 求メテト申込ナリ固テ統監府ニ此ノ趣意ニリ詳細ノ取
 調ヲ遂テタル上結局同地ニ於ケル帝國ノ施設經費ニ他
 外國通商上ノ利害ヲ尊重セサルハカカナル事情ニ顧シ
 明治四十一年十一月右鐵道橋ノ設計ヲ變更シ開閉橋
 ニナスコトニ決定シ外務大臣經由夫々右ノ保國ニ通知セリ

MT 11255 00017

MT 11255 00016

整理ノ時機ニ至ルヲ以テ先ツ監獄法ヲ準用シ其他職務
上必要ナル規則ヲ定メ看々監獄事務ノ統一改進ヲ期
セシトス

(四) 學事事情況

居留民ノ増加ニ伴ヒ小學校ノ新設ヲ計劃スルモノ多
敷ナルヲ以テ國家ハ四十一年度ニ於テ更ニ教育補助金
ヲ増シテ三萬圓トシ廣ク之ヲ頒給シテ其計劃セシメタル
結果十二月現在ハ小學校七十四校(此内補助ヲ受ルモノ
五十八校)兒童教員一萬人學級數二百三十教員二百
七十人ニ達セリ而シテ四十二年度ニ於テ新設セラレシトスル
小學校數ハ二十三校ニ達スルノ見込ニシテ之亦補助金ヲ要ス
現在ハ小學校ハ僻陬ノ地ヲ除キ他ハ皆概ネ相當ノ
設備ヲ具ヘ教員ハ内地ヨリ有資格者ヲ聘セルヲ以テ

外 務 省

兒童ノ學力成績ニ関シテハ内地ハ小學校ノ其レニ比シ徑庭
アルヲ認メ又本府ヨリ屢次視察者ヲ派遣シ常ニ
監督獎勵ヲカノフアリ

此外四十二年度ニ於テ女子中等教育機關トシテ京城及
仁川ニ各一ノ高等女學校新設セラレ金山高等女學
校ト合セラテ校數三(生徒三百十三人)學級十三教員四十一
人ニ達セルモ獨リ男子中等教育機關トシテハ金山ニ商
業學校二校(生徒九十六人)學級四教員十一人ヲ有スル
ニ止ル他ノ地ニアリテハ僅ニ夜學校ニ於テ一時ノ急ニ充ツル
ニ過キス中學校ノ設立ニ漸ク緊要ナル問題トナルニ至レリ

(五) 民團行政

居留民團ニ関シテハ居留民團法施行細則ノ一部ヲ
改正シ理事廳官更ヲ除ク外一般官吏ニ居留民團

MT 11255 00021

MT 11255 00020

議負被選舉推ヲ認ノ將ヲ民長ニ統監之ヲ任免スル
 コトセリ之蓋シ過古數年間ノ経験ニ徴シ居留民團
 自治ノ發展ヲ企圖スル必要ニ出ラタレモナリ而シ
 テ本年內、於テ民長ヲ任命シタル元山居留民團ノ
 ニシテ又新ニ民團ヲ設ケルニ新義州居留民團ナリトス
 各地居留民團ノ狀況、消長一様ナラスト雖モ概シテ發展ノ
 傾向ヲ持續シ其施設經營事業ノ増大ト共ニ經費ノ
 膨脹ヲ来シテ本年度歲出豫算ノ總額ニ特別會計
 シ除キ九拾八万九千八百余円ニ達シ之ヲ民團法實施初
 年即チ明治三十九年度ノ豫算ニ比較スレハ實ニ三十七万
 八千五百余円ノ増加トシ經費ノ激増斯ク、如キヲ以テ統
 監府ニ於テハ常ニ民團ノ財政状態ニ注意シ又嚴シ
 不怠ノ事業ヲ營メテ民團ノ基礎ヲ鞏固ナラ
 シムル事ヲ圖リ一方ニ居留民團ヲ制定シ居留民ヲ
 シテ居留由出ヲ爲サシメ以テ民團ヲシテ其区域内ニ於ケル
 居留民ノ出入現在ヲ明ラカシテ民團事務計劃ノ
 基礎ヲ確立ナラシムル便ヲ與ヘタリ

外務省

(六) 營林廠四十一年度ニ於ケル事業計劃
 本年度ノ事業計劃ニ伐木ニ十方尺ノ流筏十五方尺ノ賣
 却十二方尺ノ積定ナリシ處日清採木公司成立ノ結果
 従来木材廠ト合同供給シ来リシ北韓兵營建築材料
 ニ營林廠草創之ニ當ルコト、ナリ多敷ノ木材ヲ要スルニ至
 レルヲ以テ鴨綠江流域ニ於テハ伐木及流下敷ノ増加ヲ要シ
 又豆満江流域ニ於テハ新ニ事業ノ開始ヲ爲シ兩流域ニ
 於ケル伐木敷ヲ三十七方尺ノ變更シタル外木材廠ノ残木約
 十六万メツ買収シ以テ賣却敷ヲ三十万尺ノニ上ラシムル計劃

MT 11255 00023

MT 11255 00022

ヲ五テケリ

右ノ如キ事業計画変更ニ伴ヒ本年度ノ収益勘定
 歳入豫算額五十四万四千九百七十〇。對シ六十三万二千
 七百圓ノ増加ヲ生シ歳出七十九万四千五百圓。對シ五十七万
 五千五百四十圓ノ増加ヲ要ス。至ヒ此ヲ以テ右ノ増収ヲ財
 源トシ本年九月豫算越進支出ノ勅裁ヲ作キ本年度
 豫算ノ変更ヲ行ハシテ事業計画変更ノ為メ年々ヘキ利益
 見込額一約十方圓金圓ニシテ之當初ノ見込額八方圓金圓ヲ
 加フトキ一約二十四方圓金圓ニ上ルヘキ計画トモ本場不振ノ為
 木材價格ノ下落ト事業擴張ノ為新創業費ヲ要スト
 暴徒ノ蜂起ニ因リ損害ヲ生シト。因リ結局十四万三千
 金圓ニ止ルトナレリ

外務省

通信管理局

韓國內地ノ發展及通信力ノ増進ニ伴ヒ通信機關及設備ノ
 増設郵便送線路電信電話交換線路ノ延長等漸次
 整備發展ノ途ニ邁キ暴徒事業ノ多大ノ障害ヲ受ケルニ係ラス
 事業益増進シ之ヲ前年度ニ比スニ通常郵便物引込數
 一分八厘ハ包郵便引込數ニ割五分三厘同配連數ニ割三分
 五厘ヲ増加シ郵便為替ニ在リテハ振出口數ニ割七分六厘掛
 渡口割四割三分増加シ又郵便取立金ニテハ取立口數ニ
 割三分七厘掛渡口數十四割六分九厘ヲ増加シ又郵便貯
 金ニテハ預金度數ニ割七分六厘掛度數ニ割七分三厘ヲ
 増加シ又電信ニテハ電信一割四分五厘着信一割五分五厘ヲ
 維持シ三厘ヲ増加シ又電話ニ在リテハ通話度數ニ割四分二厘ヲ
 増加ス。至ヒ此ヲ以テ韓國々席金ノ出納状況ハ暴徒事業ノ

12

MT 11255 00025

MT 11255 00024

為ノ歳入金ノ差入高ニ於テ多少減少ヲ来レリモ全般ノ状況
益々良好ナル成績ヲ収メタリ

鐵道管理局

明治四十一年中ニ於テ施設セル重要ナル事項ヲ擧グルニ左ノ如シ
一 運輸

(一) 營業開始 京義及馬山線ニ從來貨客ノ便乘便載ヲ

取扱ヒ来リシヲ四月一日ヨリ營業線トナシ京釜線同様鐵

道一般ノ運輸營業ヲ開始セリ

(二) 貨率ノ改正 京義及馬山線ニ從來京釜線ト運賃率ヲ

異ニセシカ今線營業開始ト日時ニ四月一日ヨリ全一貨率ニ

改正セリ

(三) 日韓間ノ連絡 豫テ元帝國鐵道廳ト交渉ノ結果今廳

ニテハ國釜間連絡船増航ヲ新行レシムニ依リ當局ニテハ

外務省

四月一日ヨリ之ニ應ジテ全線列車運轉時刻ヲ改正シ從來

ヨリ列車周數ノ増加時間短縮及夜行列車ノ運轉ヲ開

始セリ又京城釜山間ノ急行列車ニ食堂車ヲ聯結シ日

韓間往復旅客ニ對シ至大ノ便益ヲ興ヘシク次テ本年十一月

十六日ヨリ京義線改良工事一部完成ニ伴ヒ層運轉時

刻ノ短縮ヲ圖ル為メ全線列車運轉時刻ヲ改正セリ

(四) 連帶運輸ノ開始 元帝國鐵道廳線各駅ト當局京

義馬山線各駅ト間ニ京釜線日操旅客貨物ノ連帶

運輸ヲ開始セリ

(五) 驛ノ新設及廢止 從來京釜線最南端驛ハ草梁驛

ナリシカ四月一日ヨリ釜山驛ヲ開始シテ之ニ依リ同驛ハ最終驛

ノ驛ト為レリ而シテ豫テ釜山港内ヲ運航シテハ當局ハ蓋氣

船ニ之ヲ廢止セリ亦同日桂東榆林亭德山ノ各驛ヲ廢止シ

MT 11255 00027

MT 11255 00026

次ヲ振威駅ヨリ八月三十一日限廃止セリ又十二月十六日ヨリ京義線一山紋山間金村駅ヲ設置セリ

(六) 賃金ノ割引 本年一月以降左ノ割引ヲ行ハシメリ

二月一日ヨリ二十人以上ノ團子生團件ニテ哩以上同一列車

乗車スル場合ハ五割減^總四月一日ヨリ京仁間往復乗客

ニ對シ割引往復乗車券ヲ發賣ス

四月一日ヨリ日韓相互間視察及漫遊客ノ使ヲ團リ二十

人以上ノ團件ニ對シ廳局同五割引ニテ連帶乗車券ヲ

發賣セリ

七月一日ヨリ精國憲兵神助員ニ對シ五割引優待割引

乗車券ヲ發賣セリ

八月一日ヨリ陸軍人馬及軍需品ニ對シ當局線内運賃

低減輸送方陸軍運輸部本部長ト協定セリ

外務省

八月一日ヨリ釜山ニ發着スル日韓兩地間往復陸軍人

及其家族ニ對シ乗車賃金ヲ半減シ且手荷物無賃

制限斤量増加ノ特別扱ヲ開始セリ

十月十八日ヨリ二十五哩未滿ノ行商品運賃割引ヲ特

定セリ

十月十八日ヨリ龍山南大門往復ノ軍人ニ特別割引

定期乗車券ヲ發賣セリ

(七) 乗車券ノ代理發賣

七月一日セリトリスクスアレト

ソノ商會及万国夜台今社ト協約シ同社日本精國其他

東洋各地支店ニ於テ當局線ノ乗車券ヲ代理發賣ス

ナヤレノタリ又同月十五日セリトリスクスアレトソノ商會極

濱及香港支店ニ於テ元帝國鐵道廳及當局線連帶

乗車券ノ代理發賣ヲ為サレノタリ

MT 11255 00029

MT 11255 00028

124

以兼認貨物取扱人 二月一日より運送取扱人改善及 出荷奨励の目的を以て相當保証金を徴し兼認貨物 取扱人の制ヲ設ケ同時に其運賃額に對し割戻を爲ス 制ヲ設ケタリ	
如常軍用列車ト軍隊輸送 四月一日時間改正ト 同時、釜山平壤間ニ往復南大門仁川間及平壤新義 州間各一往復、常軍用列車ヲ設ケ何時ニモ大部 隊ヲ輸送シ得ル準備ヲ爲ス次ヲ四月四日ヨリ十一月六日 決り釜山京城平壤間、於テ第十三師團及手中六師團 交代輸送ヲ行フニ當リテ、右線是軍用列車ヲ運轉 シテ之ヲ輸送シテ販交通ニ何等支障ヲ及ハサスレテ終 ヤスルヲ得タリ	
(十) 高價品種改正 貨物取扱簿トシテ大貨物中高價 品ノ品種ヲ改正し百斤ノ價格五十円以上ノモノヲ高價 品トシテ取扱ヒ未ランヲ百円ニ改正セリ	外務省
(十一) 運輸収入 四月ヨリ十二月ニ至ル九月間ニ於ケル運輸 収入ハ次ニ記スルカ如ク但シ十月ヨリ十二月ニ至ル分ハ概 算ニテ計シセリ	
客車収入 一九六七、四六五、三三〇	
貨車収入 一、三〇二、七四五、三二〇	
合計 三、二七〇、二二〇、六五〇	
一日平均収入 二、八九一、七一〇	
一日平均収入 一八、六四〇	
之ヲ昨年同期ニ比スルニ客車収入ニ於テ二十万五千八百十 七円三十六錢二割一步七厘(貨車収入ニ於テ四十五万四 千二百六十五円六十三錢五割三步五厘)合計六十六万	

MT 11255 00031

MT 11255 00030

八十三円九十九銭三割五分三厘ノ増加ナリ
 (出)輸送数量 輸送数量ハ十月ヨリ十二月ニ至ル分未
 調査ニ屬スルモ四月ヨリ九月ニ至ル六月間ノ成績ヲ基テ
 左ノ如シ

旅客輸送人員 一、九五、四一人

延人哩程 四四、六七、四七九哩

一人平均乗車哩程 四哩二

貨物輸送噸數 三五〇、六五八噸

延噸哩程 二四、六七、四四八哩

二、工事

金山停車場本家、明治四十二年度中ニ該成ノ豫定ナリ又京
 仁間線路改良工事ハ約四哩已ニ該成シ十一哩間ハ明治四十
 一年度中ニ該工ノ豫定也京義線龍山一山間外九区間約

外務省

二五

六十一哩ノ改良線ニ該工セリ橋梁ニ於テ大同江架橋工事ハ一
 一才ニ共本年度内ニ成工スルノ臨津江橋梁ハ明治四十二年
 初ニ該成スル又物開附近約十哩ノ土工及清川江大寧江
 橋梁ニ日下工事中ナリ

本年七月下旬ニ於テ稀雨ノ豪雨ノ為メ築堤ノ破壞取
 崩壞流失漏橋ノ破損等全線ニ於テ多大ノ損害ヲ蒙リ
 而シテ之ヲ復旧費トシテ一才ニ豫備金ヨリ六十餘万円ノ緊急支出
 ヲ得テ本年度ニ該工ノ豫定ナリ

三、經理

四十年度韓國鐵道各勘定決算額ハ左ノ如シ

資本勘定 一、二、一、六五、五九八

収益勘定 三、五九、九七〇、八

用品資金 三、七九、五、一四〇

MT 11255 00033

MT 11255 00032

而シテ右ノ内収益勘定ニ於テハ歲入ノ政換額四十八万五千九百七十一円ノ豫定ナリシモ拮据経営ノ結果七万六千九百八十八円ノ政換ニ止リタルヲ以テ差引四十一万八千九百八十三円ノ政換ヲサカラシムル事ヲ得タリ

特許尙設置後ノ状況

本年八月十六日韓國ニ於ケル工業所有権並ニ著作權保護ノ關シ日本條約實施ニ伴ヒ統監府ニ特許尙ヲ設置シ日韓未三國人ノ爲ニ韓國ニ於テ工業所有権並ニ著作權保護ノ事務ヲ管掌セシムル事トナシ用尙當初ニ於テハ諸種ノ關係法規並ニ特許尙ニ於ケル願書處方ノ方針等未タ衆人ノ周知スル爲メ日本商人ニ或者ハ日韓未三國人以外ノ外國人ニ其保護ヲオキラ奇貨トシ英独仏等ノ外商カ多年韓國ニ於テ使用スル信用ル尙標ヲ剽竊シ其登錄ヲ出願スルモノ多ク是等外國人ニ亦直ニ其尙標ヲ寫取セラレタリト

外務省

早解レ一時物議ヲ醸セシ事アリシモ其後特許尙ノ懇切ナル説明ニヨリ法規ノ趣意ニ一服ニ徹底シ又不正ナル剽竊尙標ニ登錄セラレザル事明ナシ至リ今ヤ外國人中ニモ之カ爲メ誤解ヲ抱クモノナク又不正ナル尙標ノ登錄願モ其跡ヲ絶ワシ至リ前連ノ如ク工業所有権並ニ著作權ノ關シ其保護並ニ取締ヲ受クモノハ日韓未三國民ニ限ラシ詭外法權ヲ有スル其他ノ外國人ニ及ビザルヲ以テ行政上大ナル不便アリシヲラヌ日韓未人ノ權利モ未タ充分安固ナリトシテハカラス或ヘク速カニ條約ヲ締結シテ諸外國人ノ權利モ一齊ニ保護スルト同時ニ權利侵害ニ對スル取締ヲナスヲ得レシムルニ刻下ニ於ケル急務ナリトス
特許尙廳舎ハ經費ノ都合上未タ新ニ建設スルヲ得ザルモ後ニ統監府ノ一部ヲ以テ之ニ當テ創設事務ハ今ヤ略ホ之ヲ終ヘ備ニ常務ノ進行ヲ拂ヒ

MT 11255 00035

MT 11255 00034

ヲ受ケ官吏ト同一ノ任務ニ服シ本年一月改正官制ニ依
リ引續官吏ニ任用セラレタル者ニ對シテ其備聘中ノ年
月ヲ在官年數ニ通算スルニ是ナリ

二官等俸給令改正ノ件

從來、官等俸給令ハ不備ス、明瞭ヲ欠クモノアリシヲ
以テ本年七月全部ノ改正ヲ行ヒ不備ノ條項ハ之ヲ補
足シ初叙函任昇等昇給等ニ關スル疑義ヲ除去シ
リ

三文官任用令改正ノ件

從來、文官任用令ハ先武十年九月ノ制定ニ係リ不
適当ノ點數カラス依テ本年七月全部ノ改正ヲ行
ヒ以テ任用資格ヲシテ適當ナラシメ以テ適材ヲ擧
グル事ヲ期セリ

外務省

官内府所管

昨年二月官制改革後宮中、肅清官規ノ振作諸法規ノ
規制定及運用ニ關シ指導改善ヲカメタル結果漸ク其面目ヲ
一新スルニ至リ五百年來因襲ノ故習惡弊ヲシテ其跡ヲ絶
シケルニ至レリ其本年中之於ケル施設事務ノ主要ナルモノヲ擧
グルニ左ノ如シ

一帝室財産ニ關スル件

帝室財産整理ハ宮内ノ一重要事務ニシテ特ニ財産
整理局ヲ置キ專ラ其整理ヲ為サシメタルモ帝室財産
ノ整理ハ政府ノ財政整理ト密接ノ關係ヲ有シ且帝室ノ
費用ハ總テ政府ノ支弁ニ屬セシムトセハ特ニ帝室ノ収
益財産ヲ認リルノ必要アラサルヲ以テ本年六月勅令ヲ
三十九号ヲ以テ帝室所屬不動産ハ宮殿大廟及現朝ノ

MT 11255 00039

MT 11255 00038

三三
陵園墓ノ内埃字内ヲ除ク外總テ之ヲ國ニ移屬センノ
其整理ノ事務モ之ヲ度支部ニ引継テリ

ニ帝室債務ニ關スル件

帝室債務整理ニ關シテ本年五月法律
ヲ九号ヲ以テ其期滿免除ニ關スル規定ヲ設ケ及此法律
施行前ニ生シタル債務ハ本年九月三十日迄ニ請求又ニ申
告ヲ為スヘク若此期限ヲ過ルル時ニ其効力ヲ失フコトヲ
定メ帝室債務額ノ確定及其迅速整理ノ方法ヲ
訂リタルモ本年六月其財源タル帝室有不動産ノ國
ニ移屬シタル結果帝室債務ノ整理モ之ヲ國ニ移スノ
當然ナルヲ認メ其事務ヲ度支部ニ引継テリ

三享祀整正ニ關スル件

且凡貴族カカラサルノ弊アリテ本年七月享祀整正
關スル詔勅ヲ發シ之ヲ整金正ニ着手シ更ニ勅令ヲ以テ
帝室祀及國祀ヲ區別シ且其ノ享祀回數ヲ從來ノ回
數ノ約三分一以内ニ削減セリ同時ニ壇廟社殿園墓
ノ整理ヲ行ヒ其結果祭祀ノ廢合セラレ帝室ノ關係
ヲキモノト爲レルモノハ亦其土地建物ヲ舉ケテ之ヲ國有ニ移
屬セリ

外務省

四員役女官處分ノ件
宮内府官制改革ニ伴ヒ冗員冗官ヲ淘汰シテ同時ニ
雜輩ノ淘汰ノ必要ヲ認メ本年度ニ於テ員役四千百
二十二人世官二百三十三人ヲ數回ニ分テ解備セリ而シテ之等ノ
被解備者ニ對シテハ其勤続年數ニ應ジ慰勞金ヲ支給
シ帝室ノ恩惠ノ厚キニトシテセリ

MT 11255 00041

MT 11255 00040

20

内部所管

本年中内部に於て施設せしむる重要ノ事務尤ノ如シ

一 地方官吏任用ニ関スル件

適材ヲ擧ケルニ便ナラシムル為本年十月初令ヲ以テ郡守ノ
進退ニ觀察使ノ稟申ニ依ルニトシテ要シ又道府郡^{主事}
日本入タル主事ヲ除クノ進退ニ觀察使之ヲ專行シ且府
郡主事ノ進退ニ府手郡守ノ稟申ニ依ルニトシテ同時ニ
郡守ノ文官任用令ノ規定ニ拘ラス觀察使カ品行端正ニ
シテ適任ト認メ推薦シタルモノ、中ヨリ之ヲ任用スルニトシテ
尚内部ニ地方官資格審査委員会ヲ置キ次官ヲ以テ審査
長トシ郡主ノ任命ニ其審査ヲ經テ適否ヲ定メ上奏ノ
手續ヲ為スコトセリ

二 觀察道位置置並に府郡分合ニ関スル件

外務省

觀察道中平安北海道寧邊及忠清北道忠州ニ其位
置不適當ナルヲ認メ本年五月勅令ヲ以テ平安北道ニ
義州ニ忠清北道ニ清州ニ移シ又現今府郡ノ区域ニ廣
狭大少相齊シカラス或ニ府郡トシテ存置スルノ必要ヲ認メ
サレモノアリ或ハ施政上之ヲ他ニ合併スルヲ可トスルモノアリ依
リテ調査ノ上之ヲ廢合ヲ行フノ方針ヲ採リ既に本年中ニ於
テ數箇所ニ之ヲ實施シテ爲セリ

三 地方長官ノ發令ニ命合ニ関スル件

地方長官ノ發令ニ命合シテ往々中央政府ノ行政方針、
背馳スルモノアリ爲メ、施政上障礙ヲ来スベトアルヲ以テ本年
二月内部主官ノ事項ニ關スル地方長官ノ命令ニ際シ
内部大臣ノ承認ヲ受フヘキ旨訓令ヲ爲セリ

四 御校ニ関スル件

三五
三六

MT 11255 00043

MT 11255 00042

各地方に存在せる郷校に從來内部ノ所管に属レ
タレモ之ヲ學子部ノ所管ト爲ス方適當ト認メテ依
テ雙方協議ノ上之ヲ同部ニ移属セリ

五 各道、警備部設置及警視廳管轄區域ニ関スル
件

本年七月地方官々制ヲ改正シ各道ニ警備部ヲ置キ
警視廳ヲ以テ警備部長ニ充テ觀察使ヲ補佐シテ
警備部ニ關スル事務ヲ管掌セシメ警視廳官制ヲ改
正シ其ノ管轄區域ヲ漢城府ノシニ改メ京畿ノ警備
事務ハ之ヲ京畿觀察道ニ屬セシム

六 巡查隊ノ編成及解散

本年九月警備官ノ定員外ニ韓人警視及巡查ヲ
任命シ第一巡查隊ヲ組織シ又本年二月更ニ第二
外務省

第三巡查隊ヲ編成シソソカ經費ノ都合上第一
九月ニ第一第三ヲ十二月ニ解散シタリ

七 間島警備官派遣

警備官ノ定員外ニ韓人警視二人警備部三人巡查三
十八人ヲ採用シ間島ニ派遣シ同派出所長ノ指揮に属
セシメタリ

八 監獄事務ノ補助ニ関スル件

各道地方裁判所ニ在リテ監獄署アリテ司獄官吏ニ
於テ其事務ヲ管掌スルモ其他ハ裁判所ニ在リテ警備
署ノ留置場ヲ以テ監獄ニ充テ警備官ニ於テ其事務
ヲ管掌セリ

九 新聞紙法ニ関スル件

本年四月新聞紙法中ノ改正ヲ行ヒ外國ニ於テ發行

MT 11255 00045

MT 11255 00044

22

ス國漢文及外國人ノ韓國ニ於テ發行スル國漢文ノ
新聞紙ニ關スル取締法ヲ設ケテリ

十暴徒ニ關スル件

暴徒討伐ニ關シテ警察官ニ主トシテ偵察屬ヲ導キ
ノ任務ニ當リ守備隊及憲兵ト協カシテ其鎮定ニ努
メテ本年ノ於テ經費外ニ鎮定費十四萬餘円
ヲ支出シテ各邑ニ配給セリ暴徒ノ掃蕩ハ著シク進
捗セリ今尙出沒スル地方數ヶ所ニ依リ觀望セカ
鎮定ニ努メテテリ勸誘ニヨリ帰順シテ暴徒ノ數尤ノ
如シ

警察官ノ勸誘ニ因ルモノ

四千九人

觀察使郡主及宜論使ノ勸誘ニ因ルモノ

千百五十七人

外務省

合計

五千百六十六人

十一水圃水道費補助ノ件

該水道工事ハ水圃居留民團ノ請願ニ基キ隆熙二
年及三年ニ涉リ金三萬圓ヲ無利息ニ貸付其興ノ事ニ
決定セリ

十二漢域内外清潔保持ニ關スル件

漢域内外清潔保持ノ爲メ日韓國ノ協約ニ基キ設ケ
ル漢域衛生會ニ應急ノ事業トシテ漢域内外ニ於ケル
韓人十四万人日本人三萬七千人ニ對シテ塵芥尿屎ノ概出
ノ處分溝渠下水ノ浚渫共同便所ノ増設改善等ニ
著手セリ本年度ノ經費額十三萬三百餘圓ニシテ日本
東宮殿下御下賜金ヲ基礎トシ韓國々庫ノ補助金ノ
外日韓兩國民ノ於テ之ヲ負担ス

MT 11255 00047

MT 11255 00046

度支部

本年申度支部に於て施設又々計畫シタル事務ノ主要ナルモノヲ
舉グレバ如シ

一 地稅整理ニ關スル件

従来地稅ノ稅率ニテ三等ノ多キレ分レ又納稅義務者
ノ關係モ明瞭リ敬テ徵稅上困難甚シカリキ本年六月
法律ヲ以テ地稅ニ關スル件ヲ發布シ稅率ヲ分ラテ三等トシ
及納稅義務者ノ關係ヲ明シテ又度支部令ヲ以テ地稅徵
收元帳規程ヲ發布シ以テ之ヲ徵收ヲ容易ナラシムルニテ期
セリ

二 宮内府所管雜稅ノ移屬ニ關スル件

従来宮内府に於テ種々ノ雜稅ヲ徵收シ以テ其經費、
充用ニ來リシカ本年六月勅令ヲ以テ給テ之ヲ度支部所

外務省

管ニ移シ以テ稅稅ノ統一ヲ保フニトセリ

三 紅蔘專賣法及人蔘稅法制定ノ件

本年七月紅蔘專賣法ヲ發布シ司稅局ニ蔘政課ヲ
置キ又便宜之ヲ用域ニ分設シテ以テ紅蔘專賣ノ事
業ニ着手シ同時ニ人蔘稅法ヲ發布シ以テ紅蔘專賣
法ヲ適用スヘキ人蔘耕作區域外に於テ人蔘ノ耕作者
對シテハ耕作稅ヲ課スヘキトニ定メタリ

四 驛屯土管理ニ關スル件

驛屯土に從來宮内府ノ所管ナリシモ本年六月勅令ヲ以テ
之ヲ度支部所管ニ移スニ定メ其ノ管理方法ヲ定ムル為
ノ驛屯土管理規程ヲ發布セリ宮内府所管驛屯土ノ外
各宮ノ庄土モ本年六月勅令ヲ以テ之ヲ國有ニ移屬シ内田
番ノ管理ニ付テハ度支部令ヲ以テ驛屯土管理規程ヲ

MT 11255 00049

MT 11255 00048

24

準用セリ

五 東洋拓殖會社出資ノ件

國有ニ移屬セル驛屯土中田畠各五千七百町歩ノ一反步畝
三十五円十九錢ニ厘、田十七円四十一錢ニ厘ノ割合ニテ総價
格三百萬円ヲ東洋拓殖會社ニ出資スルニトシ、其四分ノ
一ニ相當スル田畠各千四百二十五町歩ハ、本年度十二月
十日同會社ニ引継ヲ了セリ

六 貨幣整理ノ件

旧白銅貨ハ先武九年七月(明治三十八年)之々交換ヲ開始シ
今ヤ其ノ流通ヲ禁スルニ金融上障害ナキニ至リシヲ以テ
本年七月三十一日限ヲ適用ヲ禁止セリ

七 債券發行ノ件

銀行ノ合併ト同時ニ民間ニ散布セル零碎資金ノ吸收ヲ
計リ各農工銀行ノ債券六十萬円ノ發行ヲ認可シ尙剩
立日淺ク銀行ノ信用厚カラサルヲ慮リ政府ニ其元利金ノ
支拂ヲ保証セリ

外務省

八 税關ノ件

本年四月咸鏡北道清津港ノ開港場トナリタルニ依リ外
國貿易ノ發展トシ、往來ノ税監監視署ヲ廢シテ税關支
署ヲ設置シ又往來税關監視署ハ六箇所ナリシカ漸
次同税警署兼取締ノ周到ヲ期スルニ爲メ本年四月蔚
山多太浦、長萊浦、旧馬山、統營ノ五ヶ所ニ之ヲ増設シ
又本年四月平壤停車場内ニ鐵道輸送保稅貨物
取扱所ヲ同七月大邱保稅貨物取扱所ヲ開設セリ

九 關稅率ノ件

現行關稅率ハ千八百八十三年日韓條約ニ淵源ス而シテ

MT 11255 00051

MT 11255 00050

千八百八十四年英韓條約ノ税目行ハルニ當リ時ノ總稅務司訓達ニ依リ日韓稅日中八分率及一割五分率ニ元山ヲ除キ他ノ稅同ニ於テハ適用ヒラセラルニ至リ年來之國聯スル日勿論其ノ他ノ日對シテモ稅率ノ適用區々ニ異リ統一ヲ欠クモノニ依リ前記日韓條約稅目ヲ主トシ英伊仏独澳白丁ハテ國ノ條約稅目ス。日對シテ對照ニ係ヒテ最低稅率ヲ查覈シテ各稅同齊一ノ稅率ヲ示シ之ヲ編纂シテ各稅同及各國領事其他貿易園停者ニ配付本年三月二十日ヲ期シ之ヲ實施セリ

十課稅價格ノ開スル件
 現行課稅價格ノ標準、輸出ニ在リテハ輸出港ニ於テノ時價ニ依リ輸入ニ在リテハ外國ニ於テノ原價ニ輸入港迄ノ諸費ヲ計シモノクヘキハ各國條約ノ規定スル所ノモノニ依リ

外 務 省
 拓工國製ノ久シキ事實上各稅同ノ向ニ其均衡ヲ欠クノミナラス右規定ノ價格ニ比シ實際際際ニ低價ノモノ多カリシカ故之ヲ整理シテ同日時ニ漸次降約規定ノ課稅價格ノ標準点ニ達シテ期シ買止基金ノ設定其他諸種ノ手取ヲ講ジシリ

土臨時財產整理局設置ノ開スル件
 宮内府所管ノ不動産注送來宮内府ニ於テ徵收セル諸稅ニ之ヲ國ニ移屬セリト同時ニ帝室債務整理ヲ度支部大臣ノ掌理ニ屬センタルニ為本年六月臨時財產整理局官制ヲ發布シ同局ニ於テ其事務ヲ管掌スルニ至リ

土帝室債務ノ調査ノ開スル件
 帝室債務ノ總額約二百十萬圓ニシテ之カ債權者ハ

MT 11255 00053

MT 11255 00052

韓國人ノ外日英仏清ノ各國人ニシテ其件數六ナリシカ
此等事件ノ解決ニ最公平ヲ要スルヲ以テ度支部内ニ
度支部次官、官由府勅任官一名、法部書記官一名、秩
事ニ在度支部及臨時財産整理局書記官三名ヨリ成
主トシ審査會ヲ設ケ既ニ審議ヲ經ルモノ十九件アリ明年
三月ニ至レハ全部結了ヲ告ルニ豫定ナリ

法部

本年中法部ニ於ケル事務ノ主要ナルモノヲ舉グレハ裁判
所南廳監獄ノ開始及職員ノ選任、配置ナリトス
才判所構成法、裁判所構成法施行法及裁判所設置
法ニ本年一月ヨリ施行シタリモ其施行ニ伴フ法令ノ制定、
職負ノ選任及廳舎ノ設備等ノ準備ノ爲メ八月一日ニ至リ
大審院各控訴院各地方裁判所及區裁判所ノ十六
外務省

伯所南廳ニ於テ十月三十一日ニ至リ仁川釜山等主要ノ場所
ニ八箇ノ地方裁判所支部ヲ設置セリ
監獄ニ各地方裁判所所在地ニ之ヲ置ク事トナシ京城監獄ニ
本年一月ヨリ其他ニ本年七月ヨリ其事務ヲ開始セリ
尚前記地方裁判所支部ノ設置ニ伴ヒ監獄分監設置ノ
計劃ヲ爲セリ民事、刑事ニ關シ本年申登布セル主要ナル
法令凡ノ如シ
一 氏刑訴訟規則
二 刑法大全中改正
三 非訟事件手續規則
四 土地家屋所有權證明規則
五 墮胎罪留置場、於テ民事留置場未決物留置場、刑ノ
刑期三月未満ノ既決囚ニ對スル刑ノ執行ヲ爲スニトシ

MT 11255 00055

MT 11255 00054

得件

學部

本年度に於て施設セル主要事務左ノ如シ

一 普通學子校増設

普通學子校敷ハ迄末官立九校(師範子校 附屬を含む)分五四十一校

ナリレカ本年江華、溫陽、密陽、鎮南、古阜、靈巖

驪州、宜州、同島(同島若多)ノ九箇所ニ分五普通學子校

ヲ増設シ合計官立九校分五五十校ト爲レリ

二 官立高等女學子校ノ新設

輒近女子教育ノ氣運漸ク萌芽ヲ生シ来レシ伴ヒ女子

教育機關ノ一日モ缺リカラサルヲ認メ本年四月高等女

學子校令及其施行細則ヲ頒布レ同時ニ京城ニ官立漢

城高才女學子校ヲ設置セリ

外務省

三 官立外國學子校ノ合併

本年一月官立日語、英語、法語、德語、漢語ノ各學子

校ヲ合併シテ官立漢城外國語學子校ト改稱シ尙其後

校舎ヲ京城校洞ノ元日語學子校ニ集メ名實共ニ一學子校

ト爲セリ

四 官立師範學子校講習科ノ設置

近時學子校ノ増設ト共ニ暇教員ノ供給大ニ不足ヲ感スル

ニ至リテ以テ之々急需ニ慮スル爲メ本年九月講習科

ヲ設置セリ

五 成均館學子則改正

成均館ハ經典ヲ教授スル爲メ古來ヨリ存スル唯一ノ官立

學子校ナリシモ時運ノ進歩ニ鑑ミ普通通ノ學子科ヲ講スルノ

必要ヲ認メ本年十月成均館官制ヲ改正シ新シ學子則ヲ

MT 11255 00057

MT 11255 00056

制定シテ經學子以外普通學科ノ教授スルニセリ	六 私立學校ノ取締	近時教育ノ氣運頽ニ勃興スルト共ニ各地方ノ私立學校 設立セラルルモノ非常ニ多ク之カ弊害モ亦甚カラサルヲ認メ タルヲ以テ本年九月私立學校令ヲ頒布シテ之カ取締 方法ヲ定メタリ	右ノ外本年中學事ノ關シ發布シタル法令ノ重ナルモノ尤ノ如シ	一 學會令	一 私立學校補助規程	一 教科用圖書換定規程	農商工部	本年農商工部ニ於ケル事務ノ主要ナルモノヲ舉ゲルニ尤ノ如シ	一 林業 森林制度ノ基礎ヲ確立スルニ爲本年一月森林 法ヲ發布シテ之カ施行細則並ニ國有森林山野及 產物處分規則ヲ制定シ以テ森林山野ノ保護經營 及植林ノ奨励ヲ爲シ今三月林業事務所官制ヲ發 布シ京城外ニテ林業事務所ヲ置キ以テ斯業ニ關 スル事務ノ進行ヲ圖リ又別ニ林業調査費ヲ新設シテ國 有森林ノ調査ヲ着手セリ	二 鑛業 鈔業ニ關シテハ斯業ニ付外資ノ輸入ヲ奨励スル 爲鑛業法並ニ砂鑛採取法中一部改正ヲ爲シ鈔業 權ノ讓渡ノ抵当ヲ自由トシ徑來ノ如ク農商工部大臣 ノ許可ヲ要セリ	三 水産業 水産ニ關シテハ本年十一月日韓兩國間ニ漁業 同意協定(割取条約)ヲ爲シ日時ニ漁業法及日施行細 則ヲ發布シテ漁業ノ保護取締及其ノ權義ヲ明ニセリ
-----------------------	-----------	---	------------------------------	-------	------------	-------------	------	------------------------------	--	---	---

MT 11255 00059

MT 11255 00058

<p>四 農業 荒蕪地ノ開墾願ニ關シテハ國有未墾地利 用法ヲ適用シ或ルハ迅速ニ處理スルコトニ努メ本年 中貸付若シテハ認証ノ處方ヲ爲シタルモノ七十四件ニシ テ此ノ面積三千九百三十八町四反九畝ナリ</p>	<p>協定書</p>	<p>一 日本國臣民ハ韓國ノ沿海、江灣、河川及湖池ニ 於テ韓國臣民ハ日本國ノ沿海、江灣、河川及湖池 ニ於テ漢業ヲ営ムコトヲ得</p>	<p>二 兩國ノ一方ノ臣民ニシテ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ漢業ヲ 営ム者ハ其漢業ヲ営ム地ニ行ル、漢業ニ關スル法規 ヲ遵守スヘシ</p>	<p>三 韓國ニ於ケル漢業ニ關スル法規中司法才判所ノ 職權ニ屬スヘキ事項ハ日本國臣民ニ對シテハ當該 外務省</p>	<p>日本官廳ニシテ執行ス</p>	<p>四 明治二十二年十月十二日兩國四百九十八年十月二十日 訂印日韓兩國通漢規則其他兩國通漢ニ關スル 協定ハ茲テ之ヲ廢止ス</p>
--	------------	--	---	---	-------------------	---

MT 11255 00061

MT 11255 00060